

施設名	三重大学医学部附属病院
-----	-------------

2016年度のAct: カンファレンスによって抽出されたチームの課題・問題点			
Act1	チームの活動内容と依頼方法について、对患者・家族、对医療者への周知が不十分である。 大学病院という性質上、医師をはじめとする医療職の入れ替わりが激しく、周知を繰り返さないと不十分になりがちである。		
Act2	目標設定や痛みの緩和の程度について検討し依頼元に伝えているが、その到達時期について十分共有されえいとはいいがたい。		
Act3	外来部門での基本的緩和ケアの現状が把握できておらず、専門的緩和ケアのニーズの把握ができていない。		
2016年度のPlan: 改善計画① (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)		2016年度の改善計画①に対して実施した内容・1年後の目標達成状況	
目標	計画	Do: 実施した内容	Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由
医療者にチーム活動内容 と依頼方法の周知を継 続する	異動で新規採用となった職員への周知 方法: ポスター・パンフレットによる周知 ①メンバー情報の更新を行う責任者をチーム内に作り、更 新をしっかりと行う ②病棟医師・看護師などスタッフの入れ替わりを把握し、 新規のスタッフに周知する 周知のkey person: リンクナース・師長・病棟主任	医療者に対して ・がん患者の苦痛のスクリーニングをがん関連病棟すべてで導入したこと、スク リーニングシート(生活のしやすさ質問票)に「専門家チームへの相談を希望す る」欄を作ったこと、緩和ケアリンクナースの配置・教育によりチーム活動内容と 依頼方法の周知が広がった。 ・周知対象としたKey personに周知できた。 ・患者・家族への広報(病院広報誌での緩和ケア特集掲載)後、外来患者の問い合 わせが増加した。	達成状況: 概ね達成している  理由: ・スクリーニングの導入・実施によって緩和ケアチーム活動内容 の詳細が周知され、依頼につながった。 ・リンクナース会の活動で、プライマリが緩和ケアチームへの連 携強化の実感があると評価された。 ・電子カルテ上のシステム・フォーマットの整備が不十分な点 がある。
2016年度のPlan: 改善計画② (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)		2016年度の改善計画②に対して実施した内容・1年後の目標達成状況	
目標	計画	Do: 実施した内容	Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由
疼痛緩和の到達目標に ついて依頼元とチームで 共有する	① 痛みの緩和の程度と到達時期について、目標までのプ ロセスと時期の推定を今まで以上に認識しながらチーム活 動に取り組む ② ①の内容を依頼元と共有する	これまで意識していなかった「症状緩和の到達目標の明確化と依頼元との共有」に ついて、目標・目標までのプロセス・達成時期の推定を今まで以上に認識ながら チーム活動に取り組み、カルテ・カンファレンスを通して依頼元と積極的に共有し た。	達成状況: 達成している  理由: これまで目標、プロセス、到達時期について検討していたが、そ の内容を十分に依頼元と共有していたとは言えなかった。改善計 画の一環として、「十分な共有」に留意し実行できた。
2016年度のPlan: 改善計画③ (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)		2016年度の改善計画③に対して実施した内容・1年後の目標達成状況	
目標	計画	Do: 実施した内容	Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由
外来の緩和ケア提供体 制の現状とニーズを把 握する	① 一般外来、化学療法外来、放射線治療外来などの部門 別での現状を把握する。 ② 本年度より担当となったがん相談支援CNSと協働し て、緩和ケアのニーズや必要なシステムの検討を行う。	・外来部門(一般外来、化学療法外来、放射線治療外来など)での現状を把握する 目的で、各部門とのカンファレンスを計画していたが継続実施が困難であった。	達成状況: あまり達成していない  理由: 定期的集まる場所の存在は情報共有のハードルを下げる良い機 会と考えたが、継続が困難であったため、顔が見える関係にな るという意味では達成されたが、現状を把握するという状況には 至っていない。

2017年度のAct: カンファレンスによって抽出されたチームの課題・問題点			
Act1	外来部門での基本的緩和ケアの現状や専門的緩和ケアのニーズの把握が不十分。		
Act2	新規依頼件数の増加やチームメンバーの活動時間の問題のために、依頼元との情報共有や協働に使う時間が短くなり、質の低下につながる可能性がある。		
Act3	電子カルテ上のシステム・フォーマットの整備が不十分な点がある。		
2017年度のPlan: 改善計画① (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)			
目標	計画		
外来での緩和ケア提供 体制の現状とニーズを 把握し、チームで共有す る	① 患者数(がん患者数、化学療法外来患者数、放射線治療外来患者数)の把握 ② 外来担当者から提供されているケアや介入を把握 ③ 外来の専門的対応(がん相談や相談支援)を要した患者・家族の現状を把握 ④ 現行で把握できる課題や問題点の集約		
2017年度のPlan: 改善計画② (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)			
目標	計画		
患者家族への周知のた めに必要なシステムや ツールの検討	①当院チームの具体的なリーフレットを作成し、診断時やスクリーニング時に配布する 必要時に想起してもらえるようにする (理由: 本当にケアが必要な時期には、ニーズが明確でなかったり情報を集める余裕がない場合が多い。「今、ここ」でニーズがあるかないかの判断や、患者・家族からのアプローチまで待つのではなく、 情報を提供しておく。		
2017年度のPlan: 改善計画③ (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)			
目標	計画		
依頼元との情報共有、 困難症例のピックアップ	①情報共有や症状緩和の質向上につながる電子カルテ上のツールの検討 ・依頼フォーマットの見直し ・オピオイド導入・使用時のテンプレート作成 ・介入内容のサマリシート(簡潔なまとめと評価、振り返り用) ②リンクナースや苦痛のスクリーニングを仲介とした依頼元との関係づくりを強化継続する。		